

地域連携を支える人材育成に係る取組 実施状況一覧（令和 6 年度末現在）

■各認知症疾患医療センターから都へ提出のあった実施報告書等から、令和 6 年度の主な取組内容を取りまとめたものです。

	順天堂医院	三井記念病院	聖路加国際病院
取組名	事例検討及び研修会	地域連携フォーラム	認知症ケアにおける「認知症マフ」の活用
実施日時	①令和6年6月20日18：35～19：35 ②令和6年12月12日18：50～19：50	令和6年11月20日 19:00～20:00	令和7年1月31日 18:00～19:30
対象者	区中央部の介護・医療・福祉従事者	地域の医療・介護従事者	中央区近隣の医療・福祉・介護関連職種
周知方法	郵便及びホームページ	案内状送付、病院ホームページ掲載、院内ポスター掲示	かもめケアネットメンバーにより所属機関や関係機関へ周知
実施方法	①オンライン開催 ②オンライン＋集合形式	オンライン開催＋集合形式	集合形式
内容	①1. 事例検討会 ・共同発表 文京区高齢福祉課/西片あさひ訪問看護ステーション 文京区認知症 ともにパートナー事業 事業説明 「認知症ともにパートナー事業」支援を通しての学び ・「介入困難なレビー小体型認知症の1症例について（相談員 小枝 進） 2. 講 演 「認知症を有する人と家族への意思決定支援」 順天堂大学医療看護学部/大学院医療看護学研究科 教授 湯浅 美千代 ②1. 事例検討会 「若年性認知症事例」～当事者から教わる支援のあり方～ 社会福祉法人 三井記念病院認知症疾患医療センター 2. 講 演 「認知症にならないために何をすればいいか」 順天堂大学医学部付属順天堂医院 脳神経内科 服部信孝教授	○テーマ「観点モデルを用いた医療化しない認知症ケア」 講師：中嶋義文医師（精神科） ・挨拶 ・観点モデルについて ・症例報告 ・質疑応答 ・終わりの挨拶 ・アンケート案内	認知症マフがなぜ認知症ケアに有用なのか、快の刺激とBPSD予防に関連した考察結果と、聖路加病院でどのように導入、使用しているのかの実際を交えて紹介。 ・講師：聖路加国際病院認知症疾患医療センター看護師 田中万里子

	東京都済生会中央病院	永寿総合病院
取組名	第26回認知症ケアセミナー「認知症を持つ方の意思決定支援」	認知症診療の最前線 in 台東
実施日時	令和6年11月27日 18：00～19：00	令和7年3月26日 19:00～20:20
対象者	港区を中心とした地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問看護、通所サービス事業所、施設サービス事業所、診療所、クリニック等に勤務する専門職	台東区内の医療機関に所属する医師、歯科医師、看護師、薬剤師、コメディカル、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター職員や台東区高齢福祉課の職員
周知方法	港区内介護サービス事業所230ヶ所にFaxで案内を送信 港区中心とした診療所、クリニックに郵送で案内を送付 当院ホームページにて案内を掲載	台東区医師会、薬剤師会、歯科医師会へメール。訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所にファックス、電話、メール。区役所、包括には手渡し。
実施方法	オンライン開催	オンライン開催
内容	認知症を持つ方の意思決定支援 東京慈恵会医科大学附属病院 認知症看護認定看護師 赤間 美穂	基調講演：抗Aβ抗体薬時代における認知症診療についてー当院における取組と連携実施についてー 馬嶋医師 特別公演：抗Aβ抗体治療薬の出現を機に意思決定支援を 繁田医師

	荏原病院	荏原中延クリニック
取組名	ユマニチュード講演会®	認知症講演会
実施日時	令和7年1月23日 14:00～16:00	令和6年7月28日 11:00～12:00
対象者	大田区地域包括支援センター職員 大田区内のケアマネジャー	地区内民生委員、シルバー人材センタースタッフ
周知方法	区役所から区内の包括支援センター、居宅支援事業所に周知	シルバー人材センターから、対象となる地域内の民生委員、シルバー人材センタースタッフへのチラシの配布
実施方法	オンライン開催	集合形式
内容	<p>○ユマニチュードとは何か、どのように患者と接すれば良いかといった基本的な考え方、接し方を講義</p> <p>講師：富山県立大学 看護学部 准教授 青柳 寿弥 氏 司会進行・ファシリテーター：東京都立荏原病院 患者・地域サポートセンター 森山 美穂</p>	<p>テーマ「認知症と共に生きる人生を」 講師：医師 酒井隆</p>

	松沢病院	三宿病院	東京女子医科大学附属成人医学センター
取組名	令和6年度松沢病院 地域連携を支える人材育成研修	認知症疾患医療センター 2024年度 勉強会	多職種勉強会
実施日時	令和7年3月11日 14:00～15:30	令和6年11月29日 18:00～19:20	令和7年2月8日 14:00～15:30
対象者	世田谷区、渋谷区、目黒区の高齢福祉所管課、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホームに所属する医療・介護従事者	区内医療・介護従事者 介護支援専門員、看護師、保健師、包括支援センター職員、コミュニティソーシャルワーカー	渋谷区内に従事している医療・介護職
周知方法	上記対象者所属施設への案内送付、病院ホームページへの掲載	開催通知を郵送	開催案内を各施設・事業所へ郵送
実施方法	集合形式	集合形式	集合形式
内容	<p>○「認知機能検査からみつけるケアのヒント」と題し、認知機能検査の仕組みや結果の見方、ケアへの活用の仕方について講義</p> <p>○質疑応答</p> <p>講師：上智大学総合人間科学部心理学科 教授 松田修</p>	<p>・「もしバナゲーム体験を通して認知症の方の支援を考える」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義 2 「もしバナゲーム体験」 3 まとめ <p>センター長 医師 清塚鉄人 看護師 原口望・瀬川愛 専従相談員 川路裕子（精神保健福祉士・社会福祉士） 専任相談員 細川奈央（精神保健福祉士・社会福祉士）</p>	<p>○講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい治療が始まり、法律が施行された後のこれからの新しい認知症多職種連携」 <p>○グループワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人が基本的人権を尊重され、個性や能力を発揮して支え合って生きていくためには、多職種で協働しながらどう実現したらよいか 2. 地域の人に認知症の人とともに生活することを同意し、実践してもらうために、多職種でどう協働して実現したらよいか <p><講師> 東京女子医科大学附属成人医学センター認知症疾患医療センター長 松村美由起 <司会・進行>東京女子医大附属成人医学センター看護師 梅津純子、村山裕子</p>

	浴風会病院	東京医科大学病院	あしかりクリニック
取組名	認知症セミナー「家族介護を考える」	地域連携型認知症疾患医療センター研修会	レビー小体型認知症などにみられるパーキンソン症状へのリハビリテーション
実施日時	令和6年4月25日 18:30～21:00	令和7年1月20日 16:00～17:00	令和7年2月14日 19:00～21:00
対象者	杉並区内の介護事業所（具体的には地域包括支援センター、介護施設職員、訪問事業所等）	新宿区高齢者支援課担当者 新宿区地域包括支援センター認知症担当者 新宿区居宅介護支援事業所のケアマネージャー等 新宿区訪問看護ステーション職員 新宿区介護福祉事業所職員	中野区内の訪問介護事業所職員、認知症ケアに携わっている方
周知方法	メール、ホームページで案内	居宅介護支援事業所のネットワークから メールによる案内通知　メールまたはFAXで申込み	中野区介護サービス事業所連絡会、中野区役所に依頼
実施方法	オンライン開催	オンライン	集合形式
内容	○講義「家族介護者の心理とかかわり方のポイント」 ○質疑応答 講師：明治学院大学心理学科教授　野村浩志先生 司会進行役：浴風会病院認知症疾患医療センター　PSW高橋智哉 シンポジスト：古田伸夫医師、PSW村松はるみ、PSW高橋三紀子	1. 認知症抗体医薬（レカネマブ・ドナネマブ）について 2. 認知症抗体医薬に関する医療費助成について 講師：東京医科大学病院　認知症疾患医療センター センター長　佐藤　友彦 司会：東京医科大学病院　認知症疾患医療センター 副センター長　看護部　兼子　かなえ	○講義 ・レビー小体病などに関する導入 ・病院でのパーキンソン症状の評価方法や病院のリハビリと在宅でのリハビリのポイント ・自律神経エクササイズについて ・その他、質疑応答。 （講師・司会） あしかりクリニック　院長　芦刈伊世子

	東京都健康長寿医療センター	豊島長崎クリニック
取組名	TMIG認知症地域カンファランス	地域で暮らす認知症の人を支える多職種研修「認知症の治療の最新情報について」
実施日時	令和6年7月2日 10:00～11:00	令和7年2月14日 14:00～15:30
対象者	板橋区内の地域包括支援センター職員、高齢者担当課行政職員など	豊島区内で認知症の人を支援している専門職
周知方法	開催通知、ちらしを郵送	対象事業所に案内郵送
実施方法	オンライン開催	オンライン開催
内容	<p>○グループワークのテーマ:BPSDのあるご本人とご家族への支援 模擬事例を発表し、多職種によるグループワークを実施。BPSDのあるケースについて、どのように理解し、支援していくのか意見交換。</p> <p>司会進行：東京都健康長寿医療センター精神科医 古田光 松井仁美/PSW 齋藤久美子 ファシリテーター：公認心理師 扇澤史子／今村陽子</p>	<p>テーマ：認知症抗体医薬の治療内容と治療効果、地域との連携体制について 講師：東京都地域拠点型認知症疾患医療センター東京都健康長寿医療センター脳神経内科医長医師井原涼子先生 豊島長崎クリニックセンター長医師高崎亮 副センター長医師谷恵梨子、 精神保健福祉士 木明大樹 看護師 佐藤雅子</p>

	オレンジほっとクリニック	慈雲堂病院
取組名	認知症多職種カフェ けあとも	専門的知識獲得のための研修会
実施日時	令和7年3月19日（水） 19:00～20:30	令和6年11月20日 18:30～20:00
対象者	区内外の認知症ケアに携わっている、または携わった事のある方。 医師・看護師・介護職・介護支援専門員・OT/PT/ST、 施設や薬局・歯科医等で働く人。 （医院や病院で受付業務などを担当している方も含む）	区内に勤務する認知症患者とその家族の支援にあたっている専門職（行政、地域包括、CM、病院職員、施設職員等）
周知方法	Facebook／オレンジほっとクリニックブログ/口コミ/区内施設、病院にチラシを置く/ 認知症事業連絡会で紹介。研修や講演会等で宣伝	区と連携し、各部署にメール
実施方法	オンライン開催	集合開催
内容	<p>『高齢者と飲酒問題』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本の酒類消費の傾向 2 生活習慣病と飲酒 3 アルコールによる臓器障害 4 高齢者のアルコール問題の特徴 5 飲酒問題に関するアンケート結果と高齢者への支援でうまくいった経験 6 AUDIT 7 お酒との上手な付き合い方 <p>講師：小野田美都江（立教大学共生社会研究センター）</p>	<p>テーマ「認知症の症状理解とその対応～こんなときどうするの～」</p> <p>講師：片平 真悟 氏（斎藤病院 理事・看護部長）</p>

区東北部

	大内病院	あべクリニック
取組名	認知症ケア研修会	荒川区医療・介護者向けセミナー
実施日時	令和6年10月2日 18:30～20:15	令和6年10月10日 18:30～20:15
対象者	足立区在住在勤の認知症に関わる保健・医療・介護関連専門職	荒川区及び周辺地域の医療・介護従事者
周知方法	足立区の該当場所へFAXにて周知	郵送案内、メール案内
実施方法	オンライン開催	ハイブリッド開催
内容	<p>○講義：「続・おひとりさま高齢者支援のためのリーガルサービス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の内容の振り返り ・孤立する高齢者の現状や世帯数からみたおひとりさまの増加、高齢者が直面する課題や身元保証人に関する論点、消費者トラブルなど <p>講師：武長信亮 初雁法律事務所所属 弁護士 座長：谷 将之</p>	<p>地域で生きるということ ～人の回復・再生からなる山谷のまちづくり～</p> <p>アルツハイマー型認知症の薬物療法と非薬物療法 一般社団法人 結ＹＵＩ 代表理事 義平真心 先生 慈恵医大 准教授 大本周作 先生 当院 阿部哲夫センター長 近藤康寛副センター長</p>

	いずみホームケアクリニック
取組名	事例検討会
実施日時	令和7年1月22日 14時～15時30分
対象者	葛飾区内の地域包括支援センター職員
周知方法	各地域包括支援センターへチラシを郵送
実施方法	オンライン＋集合形式
内容	認知症疾患医療センター内にある初期集中支援チームが扱った困難事例を紹介し、参加者で話し合う。困難事例を紹介し、皆で事例を考えながら初期集中支援事業の流れを知ってもらう。

	順天堂東京江東高齢者医療センター	中村病院		
取組名	福祉・介護従事者向け認知症研修	八広はなみずき多職種連携の会	認知症と一緒に学ぼう！（協力）	こうめオンライン講座
実施日時	令和6年4月28日 18:15～19:30	令和6年5月29日 14:00～16:00	令和6年6月17日 14:00～15:30	令和6年6月24日 13:30～15:30
対象者	江東区の福祉・介護従事者	墨田区在勤の専門職	墨田区内在勤の介護サービス事業所に所属している方	墨田区在勤のケアマネジャー
周知方法	開催案内を福祉・介護事業者へ直接郵送	FAX及び郵送	FAX及び郵送	FAX及び郵送
実施方法	集合開催	集合開催	集合形式	集合開催
内容	<p>○認知症疾患医療センターの取組 ○「認知症の基礎知識」をテーマに認知症の基礎知識からBPSD、鑑別診断、非薬物療法、新薬レカネマブについて講演</p> <p>講師：当医療センターメンタルクリニック医師 三戸高大、司会進行：当医療センター認知症疾患医療センター精神保健福祉士 矢村圭介、山田真紀子</p>	<p>*事例検討を行うとともに、不安が強い認知症の方への接し方、アセスメント、介入の仕方について研修を実施</p> <p>（講師）訪問看護ステーション リカバリー 中村病院 認知症疾患医療センター 専従相談員（司会）八広はなみずき高齢者支援総合センター（ファシリテーター）八広はなみずき高齢者支援総合センター</p>	<p>認知症疾患医療センターとレカネマブについての講義を実施</p> <p>講師：中村病院 栗山 直也 司会進行役：うめわか高齢者支援総合センター 東田 千鶴子</p>	<p>*精神疾患の発症から高齢者が抱える特有の精神的な問題に触れつつ講義を実施</p> <p>（講師）中村病院 認知症疾患医療センター 専従相談員（司会） こうめ高齢者支援総合センター</p>

	タムス江戸川病院さくら
取組名	2024年度福祉・介護・医療従事者向け講演会
実施日時	令和6年6月21日 14:00～15:00
対象者	区内の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、介護保険施設、医療機関、訪問看護ステーション等に勤務する福祉・介護・医療従事者
周知方法	直接配布、メール、FAX
実施方法	集合開催
内容	<p>○テーマ タムスグループにおける認知症のある患者さんへの地域支援</p> <p>病院の紹介、認知症治療病棟の特色・方針、事例紹介から入院治療と退院支援について説明。地域の事業所からSDGsアブリeitoのご紹介をし、認知症疾患医療センターからも家族会などのお知らせをした。</p> <p>（講師）タムス江戸川病院さくら 認知症疾患医療センター精神保健福祉士、保健師</p>

	青梅成木台病院	福生クリニック	羽村三慶病院
取組名	認知症ケア・リーダー層研修「チームによるBPSDケア」	令和6年度 認知症対応力向上のための集い ～ 認知症の人や家族を支えるために ～	認知症オンラインセミナー
実施日時	令和7年2月22日 13:00～16:20	令和7年2月21日 15:30～17:00	令和6年11月8日 18:00～19:00
対象者	青梅 市内・西多摩圏内で認知症 の方の 支援 に携わる介護・医療従事者等（BPSDケアプログラム導入の有無は問わない）	市に在籍の居宅介護支援事業所、在宅サービス事業所、地域包括支援センター等	西多摩医療圏に勤務の医療・介護従事者
周知方法	西多摩地域の医療・介護事業所管理者宛に対象者の推薦依頼案内及び募集要項等を郵送して募集（メールでの案内や電話受付でも対応）	案内状の送付・ファックス	センターホームページ、院内掲示、チラシ配布、メール
実施方法	集合開催	集合開催	オンライン＋集合開催
内容	<p>○プログラム</p> <p>（１） チームケアで実践する認知症BPSDケア 【講義】</p> <p>（２） 背景要因の分析～「身体の痛みがありそう」について考えてみよう 【講義・ワーク】</p> <p>（３） BPSDケアプログラムの実践ケース報告 【講義】</p> <p>（４） 明日からできるチームケア 【講義・ワーク】</p> <p>司会：細野健（青梅成木台病院） 講師・ファシリテーター： 井上信太郎（東京都介護指導者会） 鈴木雄生（東京都介護指導者会） 甲斐康由貴（東京都介護指導者） 善福草仁（東京都介護指導者会）</p>	<p>① 本研修の目的、センターとしての役割説明（専従相談員：玉木）</p> <p>② 講義（一部グループワーク） テーマ：「何を言うか」より「誰が言うか」～かたくなな気持ちを解きほぐすファーストコンタクト～（講師：坂本）</p> <p>③ 参加者からの感想、日常ある認知症についての不安や対応についての質問等のディスカッション、フリートーク</p>	<p>○テーマ「高齢者と子供のふれあい～モンテッソーリケアの特徴」</p> <p>（講師）山本一代 氏 社会福祉法人ココロの会（認知症対応型デイサービス ポビー含む）理事長</p>

	あきる台病院	菜の花クリニック	大久野病院	奥多摩病院
取組名	支援者のためのコミュニケーション理論	令和6年度 認知症対応力向上のための集い ～ 認知症の人や家族を支えるために ～	人材育成研修会	多職種向け認知症体験型研修
実施日時	令和6年12月21日 14:00～16:00	令和7年3月21日 14:00～15:30	令和6年7月25日 14:00～15:30	令和6年6月7日 14:30～19:30
対象者	あきる野市内の医療・保健・福祉機関及び関係連携機関の職員	町に在籍の居宅介護支援事業所、在宅サービス事業所、地域包括支援センター等	認知症の方への支援を行っている医療介護従事者等	医療従事者、介護職員、福祉系職員等
周知方法	文書通知、電話、メール	案内状の送付、ファックスでの案内	郵送、メール	直接、施設へ直接案内配布
実施方法	集合開催	集合開催	集合開催	集合開催
内容	<p>①行動科学に基づくコミュニケーション理論</p> <p>②チームワークとコミュニケーション</p> <p>③行動分解を用いた課題解決の検討</p> <p>④専門職の人間関係</p> <p>⑤支援者のメンタルヘルス対策</p> <p>※他、高齢者在宅サービスセンターの紹介（高齢/サービスセンター職員による）</p> <p>（講師）Myworkshop代表 吉川美喜江</p>	<p>講義 認知症の人とそのご家族を支える～地域で出来ること～（講師：坂牧）</p> <p>地域の困難ケースについて参加者参を交えたディスカッション、意見交換</p>	<p>講演テーマ ひと足先に認知症になった、私からのメッセージ</p> <p>講師 さとう みき氏（とうきょう認知症希望大使）</p>	<p>VR機材を装着し、アルツハイマー型認知症（視空間失認）、レビー小体型認知症（幻視）、見当識障害の症状を体験</p> <p>講師：医療法人社団仁成会 高木病院 認知症認定看護師 西尾 るみ子氏</p>

	平川病院	鶴川サナトリウム病院	多摩平の森の病院
取組名	事例検討会　～ 認知症を多職種で考える　～	地域の専門職向けの講義・セミナー	疾患センター主催勉強会「レケンビの登場で変わるものと変わらないもの」
実施日時	令和6年7月1日 18:30～20:00	令和6年11月6日 14:00～16:00	令和6年9月20日 19:30～21:00
対象者	医療・介護・福祉・行政関係者	町田市市内の認知症地域支援推進員（地域包括支援センター及び認知症疾患医療センター所属に限る）	医師会所属の市内医療機関の医師・職員、、日野市歯科医師会の歯科医師、日野市内の薬剤師、市内の全介護保険事業所・地域包括支援センター、市高齢者福祉課の職員、多摩若年性総合支援センターの職員
周知方法	・関係各団体に開催案内を送付し、会員への配信を依頼 ・当院ホームページに開催案内を掲載	案内文のFAX及びメール配信	日野市医師会に告知文の送付・周知協力依頼、医療機関を訪問しての参加勧奨、介護保険事業所等へFAX送付
実施方法	集合開催	集合開催	オンライン開催
内容	「多職種連携・多機関協働」及び「地域包括ケアシステム」に関する概論のプレゼンテーション。精神科急性期治療病棟での治療・ケアの経験をもとに作成した、模擬事例2ケースを提示し、どんな対応をすれば一日でも長く住み慣れた環境で暮らすことができるか」をテーマに、参加者とグループディスカッション及び全体でのシェアリングを実施。 平川病院　心理療法科　淵上　奈緒子	研修は大きく2部構成とし、前半では講師より認知症基本法の立法過程や認知症施策推進基本計画の概要について説明。特に認知症基本法の立法過程では、認知症の本人や家族等の当事者団体が様々な意見を発信し、議論に大きく関与してきた。そこで彼らが重視していた考え方や想いを知ることによって、認知症基本法に込められた理念やその意義を理解することを目指す。 後半では、グループワークを行う。町田市独自の認知症に対する取り組み（まちだアイステートメント）を振り返りつつ、認知症基本法や認知症施策推進基本計画の考え方を踏まえ、これからの町田市の認知症に対する取り組みにおいて求められる視点等を議論する。その中で地域の取り組みの「ハブ」としての認知症地域支援推進員の役割や個々人が目指したい姿について再確認することを目指す。 講師：栗田駿一郎（日本医療政策機構） 司会：村山秀人（認知症疾患医療センター）	○講演 ・認知症新薬レケンビに関する知識、実際の症例報告、レケンビ使用に当たった連携等 （講師）東京都健康長寿医療センター副院長（医師） （座長）多摩平の森の病院　認知症疾患医療センター　医師 （事務局）多摩平の森の病院　認知症疾患医療センター　相談員

	桜ヶ丘記念病院	稲城台病院
取組名	第1回　認知症連携推進講演会	認知症講座
実施日時	令和6年9月7日 14:00～15:45	令和7年1月25日 13:30～15:30
対象者	多摩市内や近隣市で認知症支援に関わっている医療・福祉専門職	稲城市内の医療福祉従事者
周知方法	市役所や市医師会に協力依頼し、配布・周知	ご案内の郵送、連絡会等での配布
実施方法	集合形式とオンライン形式のハイブリット開催	集合形式
内容	・『抗アミロイドβ抗体治療の実際』について ・『抗アミロイドβ抗体治療の流れ』について ・質疑応答 講師：色本　涼医師（慶応義塾大学医学部　百寿総合研究センター） 肥田　道彦医師（日本医科大学多摩永山病院　精神神経科部長）	・「認知症疾患医療センターの地域における役割」 ・「みんなで支える食支援～在宅から始める食支援～」 ・意見交換 講師：永野満センター長（稲城台病院） 木村典樹管理栄養士（稲城台病院） 司会：三浦恵美精神保健福祉士（稲城台病院）

	立川病院	たかつきクリニック	国分寺病院
取組名	働く人のメンタルヘルス～認知症の人と私たちの笑顔のために～	みんなが安心して認知症になれる昭島市と一緒に考える	認知症支援地域連携研修会
実施日時	令和6年10月31日 14：00～15：00	令和6年11月24日 13：00～15：30	令和7年1月31日 13：30～15：30
対象者	立川市内で働く認知症領域の専門職	市内の介護事業所	市内の医療・介護事業所に勤務する職員
周知方法	チラシ配布、包括支援センター経由で関係各所へ案内	チラシ送付	国分寺市内の居宅支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市役所高齢福祉課、社会福祉協議会へFAX
実施方法	集合形式	集合形式	集合開催
内容	<p>○講義：ストレスとの付き合い方 ストレスとの付き合い方の概論の他、アドラー心理学を題材とした少人数でのグループワークを行い、勇気づけのコミュニケーションについて具体的に学んだ。</p> <p>講師：久持 修（やまき心理臨床オフィス） 司会：中野 彩（立川病院）</p>	<p>・表題についての講演を行い対談と質疑応答にて進行。 ・認知症に慣れる昭島市について意見交換</p> <p>講師：暮らしの保健室多摩間瀬氏 たかつきクリニック大西氏</p>	<p>テーマ①：「認知症について」 認知症の種類や原因、予防について総括的に紹介 テーマ②：「新薬について」 認知症抗体医薬の紹介と当院での紹介実績について テーマ③：「認知症疾患医療センターについて」 認知症疾患医療センターの業務内容や今年度の実績報告</p> <p>【2事例検討】 テーマ：「認知症による身体抑制の解除と施設退院への退院支援」 もの忘れ外来から別の疾患で入院となった事例で、入院中認知症症状が強くなり、在宅への退院が困難となってしまった方について、参加された各職種の方でグループワークをおこなってもらい、各職種の視点からの意見交換をしてもらった。</p> <p>講師：社会福祉法人 浴光会 理事長 医師 高木智匡 国分寺病院 認知症疾患医療センター センター長 医師 杜吉克仁 国分寺病院 認知症疾患医療センター 臨床心理士 斉藤翔太 事例検討：国分寺病院 認知症疾患医療センター 臨床心理士 斉藤翔太 司会進行：浴光訪問看護ステーション 所長 保健師 荒尾真起子</p>

	新田クリニック	東大和病院	武蔵村山病院
取組名	認知症研修	認知症の日をみんなで知ろう ～認知症の理解と対応について～	第6回地域でささえる認知症研究会
実施日時	令和7年3月21日 18：30～20：00	令和6年9月19日 14：00～16：00	令和7年2月21日 19：15～21：00
対象者	市内の訪問看護ステーション職員、地域包括支援センター職員、デイサービス職員、看護小規模多機能職員、居宅介護支援居宅職員	認知症について知りたい地域住民	市内における医療・介護従事者
周知方法	チラシ	チラシを作成し、病院・近くの薬局に掲示依頼、もの忘れ相談会で紹介など	ポスターの郵送、市内医療関係者向けSNSにて周知
実施方法	集合形式	集合形式	オンライン開催
内容	<p>・国立市における認知症独居の年代別の推移と認知症独居問題で長く在宅生活が続けられた事例や施設入所となってしまう事例の比較検討 ・BPSDについて（事例検討） ・認知症の診断と新薬（レカネマブ・ドナネマブ）についての説明と治療の現在について</p> <p>講師：宮崎之夫（医師）（新田クリニック）</p>	<p>○認知症は誰しもなりえるものということで、認知症の当事者の言葉や動画などを紹介。認知症の原因となる疾患について解説や実際の診察で行う検査やもの忘れ相談窓口を案内</p> <p>（司会） 東大和病院認知症疾患医療センター 専従相談員</p>	<p>○講義 「認知症と食支援」 ・第一部 講義：嚥下障害と支援について 認知症別 嚥下機能とその支援方法 関わり方のポイント・見分け方など ・第二部 ディスカッション：認知症の食支援を支えるには テーマに沿い、各職種の立場から食支援について意見交換</p> <p>開会の挨拶：武蔵村山病院 参与 鹿取正道医師 座長：武蔵村山病院認知症疾患医療センター センター長 福井海樹医師 講師：大阪大学大学院 歯学研究科 口腔科学専攻 准教授 野原幹司氏 ディスカッサー：武蔵村山病院 歯科医師 元橋靖友氏、脳神経内科医師 内野賢治氏、言語聴覚士 大澤康貴氏 閉会の挨拶：武蔵村山市医師会 藤田医院 医院長 藤田仁医師</p>

北多摩南部

	杏林大学医学部付属病院	武蔵野赤十字病院	根岸病院
取組名	三鷹市きれめのない認知症支援をめざして研修	第2回武蔵野市認知症連携部会『行動・心理症状に着目した認知症ケアのアプローチ』	府中市認知症疾患医療センター専門職向け研修会
実施日時	令和6年10月2日 19:00～20:30	令和6年12月11日 19:00～20:30	令和6年5月15日 18:30～20:00
対象者	三鷹市の認知症の人の支援に携わる医療・介護・福祉従事者	認知症部会に参加している部会員（武蔵野医師会、武蔵野薬剤師会、訪問看護・訪問リハビリテーション連絡協議会、居宅介護支援事業者連絡協議会、通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡協議会、在宅介護・地域包括支援センター）	市内の行政、地域包括支援センター、老人福祉施設、薬局、関係業者
周知方法	メール、MCSを活用した広報	各職種の連絡協議を通じて希望者を募集	郵送
実施方法	集合開催	集合開催	集合開催
内容	<p>テーマ：認知症を有する人のACP～地域でつないでいくために</p> <p>○講演 ○意見交換、取組状況の報告</p> <p>講師：杏林大学保健学部、准教授角田ますみ 司会進行：同患者支援センター名古屋恵美子</p>	<p>○講義 ・「認知症ケアプログラム」の流れや特徴 ○ディスカッション ・前半の講義についてのディスカッション 評価方法（NPI評価法）について</p> <p>【講師】東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター西田淳志先生（ファシリテーター）小池真理子（吉祥寺本町在宅介護・地域包括支援センター）、丸地こう子（吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センター）</p> <p>【発表者】天野英介医師（武蔵境病院院長）、春木武徳医師（春木医院院長） 【司会】鎌田智幸医師（武蔵野赤十字病院 認知症疾患医療）</p>	<p>・認知症疾患医療センターの実績について ・事例紹介&ディスカッション</p> <p>司会進行：夏原博史（医療相談室） 講師：松村亮明（センター長/医師）、堀井志満子（作業療法士）</p>

	青木病院	桜町病院	東京慈恵会医科大学附属第三病院
取組名	病院見学会	認知症医療介護従事者向け研修	第13回東京慈恵会医科大学附属第三病院認知症疾患医療センター認知症研究会
実施日時	令和6年8月22日、8月29日 13:30～15:00	令和6年10月17日 19:00～20:30	令和6年12月2日 18:30～19:30
対象者	市内の介護・福祉関係者 介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム	小金井市医師会、小金井市薬剤師会、小金井市歯科医師会、小金井市介護保険事業所、桜町病院職員	院内教職員+近隣の医療機関（病院、かかりつけ医）、行政（狛江市、調布市）、地域包括支援センター（狛江市、調布市）、ケアマネジャー、介護事業者等
周知方法	各事業所宛てにFAX、郵送	メーリングリスト、FAXで周知	<p>認知症連携会議・包括連絡会、CM連絡会、医師会を通して周知（メール、FAX）。</p> <p>近隣の医療機関へ当院外来担当医表送付時に案内を同封して郵送（約900カ所）。</p> <p>北多摩南部地域の各認知症疾患医療センターへメール 等</p>
実施方法	集合開催	オンライン開催	オンライン開催
内容	<p><第1部> ○認知症治療病棟／内科合併症病棟見学 病棟医の挨拶、質疑応答</p> <p><第2部> ○認知症疾患医療センターの目的や役割について （講師）青木病院 認知症疾患医療センター 専従相談員</p>	<p>○認知症へのアプローチ～理学療法士の視点から～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の概要 ・認知症の予防 ・認知症に関する評価 ・認知症患者に対する理学療法・ADLアプローチ <p>講師：武蔵野中央病院 理学療法士 細井匠 氏 司会：桜町病院認知症疾患医療センター 菊池里香（PSW）・挨拶：宮島加耶（医師）</p>	<p>○講演 ・「アルツハイマー病抗体治療薬について～投与体制の実際と課題～」 認知症治療薬の概要、東京都の取り組み、東京都健康長寿医療センターの体制・投与状況、地域連携や課題等について</p> <p>講師：東京都健康長寿医療センター 精神科部長 古田 光 座長：東京慈恵会医科大学附属第三病院認知症疾患医療センター長 布村明彦</p>

	山田病院		国立精神・神経医療研究センター病院
取組名	西東京市認知症支援者事例検討会	第13回 北多摩北部保健医療圏地域拠点型認知症疾患医療センター 研修会 「認知症とともに生きる～本人の声からはじまるまちづくり～」	ブラッシュアップ研修
実施日時	令和6年5月31日 13:30～16:00	令和6年12月10日（火）＜＊オンデマンド配信 令和7年2月1日～2月28日＞	令和6年10月22日 15:00～16:30
対象者	西東京市内の病院・クリニック・訪問看護事業所・地域包括支援センター・ 通所介護支援事業所・入所施設・行政担当職員・認知症初期集中支援チーム・ 薬局・歯科医療機関の職員	北多摩北部保健医療圏内 市民の方（市内に在住/在勤）	市内の医療・介護従事者
周知方法	対象者（対象機関）へ郵送で案内を送付	対象者（対象機関）へ郵送で案内を送付	チラシ郵送
実施方法	集合開催	集合開催	オンライン開催
内容	●ミニ講座「幻覚・妄想のある高齢者への援助」 薫風会山田病院地域拠点型認知症疾患医療センター 竹中秀夫（医師） ●事例検討会 今回、2事例を模擬事例として作成し、グループにて検討を行った。 事例1：レビー小体型認知症の診断があり、幻視や怒りっぽさがある事例 事例2：在宅で生活し認知症の疑いがあるが、医療や介護に繋がっていない妄想をもつ高齢者の事例 薫風会山田病院地域拠点型認知症疾患医療センター 田村智美（認知症看護認定看護師）	①基調講演「認知症になってもだいじょうぶなわがまちを ともにつくっていこう」 ②シンポジウム＜各々の活動や取り組みに関して等＞ ③質疑応答	①認知症の治療について 講師 大町 佳永 ②認知症で特にみられる、せん妄の基礎と実践 講師 稲川 琢磨 ③質疑応答

	多摩あおば病院	複十字病院	前田病院
取組名	精神科病院を知るための研修会	認知症研修会2024	多職種合同セミナー
実施日時	令和7年2月28日 13:30～15:00	令和6年12月6日 17:00～18:00	令和6年11月28日 18:30～20:30
対象者	市内の医療・介護従事者	市内医療・介護従事者	市内医療・介護従事者
周知方法	メール、認知症施策検討会議にてアナウンス	関係機関に案内状を郵送にて送付	案内状の郵送
実施方法	集合開催	オンライン開催	集合開催
内容	○「認知症を抱えているかたへの支援を考える」 （講師）多摩あおば病院 精神科医師 精神科病院で提供されている医療について、院内見学を行いながら説明。 見学終了後に質疑を受け付け、意見交換。	【テーマ】「軽度認知障害 早期診断の重要性」 講師：飯塚 友道（認知症疾患医療センター長）	○講義「連携に支えられながら、治療、そして、これからを生きるAさん」 （講師）前田達浩（前田病院 認知症疾患医療センター長）